



PLUS ULTRA

HAKUOH

白鷗大学足利高等学校 令和8年3月31日発行



▲全国選抜大会で優勝した伊藤瑠那さん



▲全国大会に出場した選手たち

▼沖縄修学旅行 琉球村



▼沖縄修学旅行 JUNGLIA



令和8年

3/31

第72号

○「心に響いた言葉たち」	学校長 大橋 芳樹	2ページ
○卒業生に贈る言葉		3ページ
○学窓の思い出		4~5ページ
○進学・就職状況		6~7ページ
○活躍する部活動		8~12ページ
○白鷗トピックス		12~14ページ
○白鷗大学だより		15ページ
○PTAだより・新生徒会・他		16ページ



心に響いた言葉たち

白鷗大学足利高等学校長 大橋 芳樹

日々の生活の中で何気なく出会った言葉に、時として、勇気や元気をもらうことがあります。また、その言葉が、その時ぶち当たっている壁を乗り越えるためのヒントになることがあります。今年も、私の人生の中で出会った素敵な言葉をいくつかプレゼントします。

▼『悪くなったのは自分のせい、良くなったのは他人のおかげ』…メイクアップアーティスト、美容家、ビューティーディレクター、タレント、書家としても活躍するI K K Oの言葉です。「どんだけ〜」や「背負い投げ〜」などの流行語で世の中を明るくしてくれていますが、紹介した言葉からも分かるように、自分に厳しく、他人に優しい人です。皆さんの中には「悪くなったのは他人のせい、良くなったのは自分のおかげ」というような、自分に優しく、他人に厳しい人はいないでしょうか。



卒業式 校長式辞

▼『生きる上で最も偉大な栄光は、決して転ばないことにあるのではない。転ぶたびに起き上がり続けることにある』…南アフリカ共和国の第八代大統領を務めたネルソン・マンデラの言葉です。マンデラは、若くして反アパルトヘイト（白人と非白人の諸関係を規定する人種隔離政策）運動に身を投じ、1964年に国家反逆罪で終身刑の判決を受け1990年に釈放されます。釈放後もアパルトヘイト撤廃に対する意欲は衰えることなく、1991年からアフリカ民族会議第11代議長に就任し、アパルトヘイトを撤廃した新憲法の制定に尽力します。この功績が評価され1993年にノーベル平和賞を受賞しました。その翌年、新憲法の下で行われた総選挙でマンデラ率いるアフリカ民族会議が圧勝し、彼は第八代大統領に就任しました。このような苦難の人生を歩んだマ



在校生送辞 進2の2馬場悠翔さん(休泊中)

ンデラの言葉には重みがあり、強い意志を持ち、挫折を乗り越え挑戦し続けることの大切さを教えてくださいました。

▼『好みに生きればよい。才能があるかないかなんてあまり熱心に考えなくてもいいですよ。人生なんてなるようにしかならないのだから』…現在102歳の小説家、佐藤愛子の言葉です。1969年、45歳の時に、短編小説『戦いすんで日が暮れて』で直木賞を受賞、「老いて益々盛ん」の言葉どおり、近年も多くのエッセイ集を発表しています。「九十歳。何がめでたい」、「九十八歳。戦いやまず日は暮れず」、「老いはヤケクソ」など、どのタイトルを見ても元気が出そうなのはわかりです。そんな佐藤愛子の「人生はなるようにしかならない」という言葉には、



卒業生答辞 文3の2 稲葉璃央さん(結城中)

毎日を思い悩まず、好きなようにこそ逆に自分を鼓舞することにもなる』…私の大好きな女優の一人である天海祐希の言葉です。彼女がドラマで演じる役柄は、さばさばした性格で、何事にも前向き、一生懸命なのが印象的です。想像するに、本人も役柄と同様、竹を割ったように真っすぐで、責任感が強い性格なのでしょう。

卒業する皆さんも、自らの行動に責任を持った上で、責任という言葉を変え、時には流れに身を任せ、失敗を恐れずに生きていってほしいと考えています。



白鷗大学ハンドベル部の演奏

生ければよいというメッセージが隠されているようです。▼『挫折を感じたとき何かのせいにするのってくだらないと思うんです。だって、その結果を招いたのは自分自身でしょう。まずは自分に問いかけなкゃ。責任という言葉はすごく強い。でも、だから

学窓の思い出



特別進学コース
3年1組
阿部 庄汰
(藤岡中)

東北大学 理学部 宇宙地球物理学科

入学式の日から3年が過ぎようとしていきます。私は学業中心の高校生活の中で、多くの学びと出会いに恵まれました。中でも同級生と挑んだエコノミクス甲子園では、クイズに挑む楽しさと奥深さをあらためて実感し、2年連続で全国大会に出場できたことが大きな自信となりました。何より全国の仲



間との交流は、視野を広げる貴重な経験でした。

また、志望校合格に向けて早朝や放課後を活用し、全科目で好成績を収められるよう絶えず努力を続けました。補習や授業での記述中心の問題演習は思考力を磨く助けとなり、自ら課題を見つけ、粘り強く取り組む姿勢も養われました。

東北大学理学部で暗黒物質の正体に迫る研究をしたいという夢を支えに学び続け、無事に合格をつかむことができたのは、先生方や友人、家族の支えのおかげです。3年間の学びを糧に、大学でも物理学の探究に一層邁進していきます。ありがとうございました。



特別進学コース
3年1組
森田 樹里
(古河第一中)

立教大学 経営学部 経営学科

3年間で振り返ると、友達と過ごした些細な出来事がたくさん思い出されます。一緒に登下校した友人たちとのくだらない会話、放

課後に行ったカラオケ、体育祭終わりに友達と半分こしたアイス、おしゃべりに脱線してしまった勉強会など、思い出すとさきりがありません。これら一つひとつの経験が私にとっては新鮮で、忘れられない思い出です。

楽しいことばかりではなく、つらいことや思い通りにならないことも多々ありましたが、いつでも努力を怠らないクラスメイトの姿に励まされ、諦めずに何事もやり遂げることができました。

本校で得られたさまざまな経験を糧に、これからも夢の実現を目指し努力し続けていきたいと思えます。3年間、本当にありがとうございました。



進学コース
3年2組
米沢谷 佳音
(愛宕台中)

静岡県立大学 経営情報学部 経営情報学科

とても長いと思っていた3年間でしたが、振り返ってみるとあつという間の3年間で学校生活や学校行事、放課後などの思い出がたくさんできました。学校行事では初めて自分たちでクラスTシャツを作ったことで、クラスが団結することができ、楽しく行事に参加することができました。3年時の



白鷺祭は、私たちにとって高校生活最初で最後の学校祭でした。クラスの出し物を決める時、はじめ



進学コース
3年5組
室井 太陽
(足利第三中)

群馬大学 理工学部 物質・環境類

本校での高校生活はとても充実した3年間でした。1年時から学習環境の整った自習室を積極的に活用し、日々の学習を継続することができました。3年生になり受験が始まると、先生方が真剣に相談に乗ってくださり、手厚くサポートしてくださいました。その支えがあったからこそ自信を持って入試に挑み、第一志望の大学に合格することができたと感じています。また、学校行事では友人や

はクラスの意見が一致せず、準備までに時間がかかってしまうこともありましたが、みんなと話し合いを重ねたことで今まで以上に仲良くなれたと思っています。楽しいことや辛かったことも今では良い思い出でその経験があったからこそ自分自身も成長できたと思っています。



3年間、ありがとうございました。クラスメイトと協力しながら全力で取り組み、かけがえのない思い出をつくることができました。大学でもこの経験を糧に、努力し続けていきたいと思えます。3年間本当にありがとうございました。





文理進学コース
3年1組
ファルークカディジャ
(小山城南中)

**宇都宮大学
国際学部 国際学科**

バキスタンで生まれ、ドバイで育った私は、6年前に日本にきました。日本語の習得や日本文化になじめるかという不安はありましたが、高校では、多くの友人、何でも相談できる先生方との出会いから、少しずつ自信が持てるようになりまし。なかでも生徒会議

長として、学校行事に関わった時間は特別でした。仲間と準備を重ねた白鷗祭や、クラスが力を合わせて優勝した体育祭は、今でも心に残っています。友人たちは宗教や文化の違いを尊重し、日本語の勉強もそばで支えてくれました。担任の先生と進路について話し合



い、2年生のうちから資格取得に励みました。将来は、バキスタンやドバイで感じた教育格差と日本で受けた平等な学びの機会を通じて、誰もが教育を受けられる社会づくりに貢献したいです。

今の私でいられるのは、先生方、友達、そしていつも見守ってくれた家族のおかげです。3年間、ありがとうございます。



文理進学コース
3年3組
小林 那奈
(山辺中)

**高崎健康福祉大学
農学部 生物生産学科**

本校で過ごした3年間を通して、私は多くの成長を実感することができました。

部活動では軽音楽部に所属し、仲間と団結しながら、日々、練習に励んできました。楽器の経験がほとんどなく戸惑うこともありましたが、仲間のおかげで文化祭やライブなどのイベントを成功させることができました。2年時から副部長として部が円滑に活動できるように努めました。部をまとめる立場として責任の重さを感じることもありましたが、その分、リーダーシップや責任感を持った行動を心がけるようになりました。また、軽音楽部での活動と並列

して、学業にも真剣に取り組み、文武両道を意識した学校生活を送ることができました。忙しい日々でしたが、計画的に時間を使うことで両立する力が身についたと感



総合進学コース
3年2組
池内 雷基
(田島中)

**東海大学
体育学部 武道学科**

柔道とともに過ごした高校3年間は、かけがえない思い出となりました。

期待と不安を胸に本校に入学し、新しい環境の中で柔道部での生活もスタートしました。1年生の頃は、先生方や先輩方の指導のもと基礎から学び、初めての大会では緊張しながらも仲間と声を掛け合い、全力で戦いました。2年生で

じています。

本校で得た経験を糧に、大学でも挑戦していきたいと思っています。3年間ありがとうございました。



総合進学コース
3年5組
小林 栄絢
(鹿沼北中)

**東洋大学
経営学部
会計ファイナンス学科**

高校3年間の思い出は、ボクシングに捧げた日々です。1年生から頂点を目指してきましたが、中は、全国大会優勝という目標に向かって、チーム全員で練習に励み、厳しい練習も互いに励まし合いながら乗り越えてきました。その結果、全国選抜大会で日本一になったときの喜びは今でも忘れられません。3年生になると後輩を指導する機会も増え、チームをまとめる難しさや責任も学びました。受験勉強との両立は大変でしたが、最後まで柔道に向き合うことができました。

3年間、温かくご指導してくださった顧問の蓬田先生、齋藤先生、長谷川先生への感謝の気持ちを胸に、この経験をこれからの成長につなげていきたいと思えます。ありがとうございます。

学生の時に負けた相手に高校2年生になっても再び敗北し、その悔しさから今まで以上に考え、練習に没頭してきました。そして3年生で迎えた最後のインターハイでは、落ち着いた試合運びが功を奏しました。リングの上で手にした優勝はこれまでの努力がすべて報われた瞬間で、自然と涙が溢れました。

私はとても周りの人に恵まれていると感じます。私がかつて充実した学校生活を送れたのも周りの人の支えがあったからです。熱心にボクシングを指導してくれた先生方、減量や苦しい練習を一緒に乗り越えた仲間たち、応援してくれた担任の先生、友人、サポートしてくれた家族には感謝しかありません。大学ボクシングでも1年生から活躍できるように頑張ります。3年間本当にありがとうございました。



文化学園大学	2名
日本女子体育大学	1名
日本獣医生命科学大学	1名
日本体育大学	6名
日本洋科大学	3名
東京薬科大学	20名
東京農業大学	3名
東京都市大学	3名
東京電機大学	1名
東京聖栄大学	8名
東京女子体育大学	1名
東京工科大学	2名
東京経済大学	2名
東京家政大学	2名
東京家政大学	1名
東京有明医療大学	1名
東海大学	9名
デジタルハリウッド大学	2名
帝京科学大学	1名
帝京大学	10名
津田塾大学	3名
玉川大学	2名
拓殖大学	10名
大東文化大学	4名
専修大学	1名
白百合女子大学	1名
昭和薬科大学	2名
昭和女子大学	5名
順天堂大学	2名
実践女子大学	1名
駒澤大学	2名
こども教育宝仙大学	1名
国士舘大学	2名
杏林大学	2名
共立女子大学	1名
北里大学	4名
大妻女子大学	3名
桜美林大学	4名
亜細亜大学	2名

〔専門学校合格者数 78名〕

栃木県立衛生福祉大学校	2名
足利アサイン・ビューティ専門学校	6名
栃木医療センター1附属看護専門学校	1名
獨協医科大学附属看護専門学校	1名
群馬県立農林大学校	1名
太田医療技術専門学校	9名
群馬医療福祉大学附属医療福祉専門学校	2名
大宮呉竹医療専門学校	3名
マロニエ医療福祉専門学校	2名
宇都宮スポーツ医療専門学校	3名
ミス・パリ・ビューティ専門学校	5名

他専門学校等43名合格

〔短期大学合格者数 12名〕

佐野日本大学短期大学	7名
育英短期大学	1名
高崎商科短期大学	1名
埼玉純真短期大学	2名
川口短期大学	1名

文京学院大学	1名
武蔵野大学	1名
目白大学	2名
立正大学	11名
和光大学	1名
神奈川大学	3名
神奈川工科大学	1名
関東学院大学	1名
新潟食料農業大学	1名
山梨学院大学	1名
名城大学	1名
鈴鹿医療科学大学	1名
大阪工業大学	1名
岡山理科大学	1名
日本文理大学	2名



令和7年度の
就職先

栃木県内	
共栄建設工業(株)	
共和工業(株)佐野工場	
シミックCMO(株)足利工場	
セコム(株)	
(株)大協精工	
栃木ダイハツ販売(株)	
栃木トヨタ自動車(株)	
ポッシュホームコンフォード ジャパン(株)	
(株)UACJ小山製作所	

栃木県外	
アキム(株)	
(株)SUBARU群馬製作所	
(有)外山ポンプサービス	
トヨタ自動車羽村(株)	
ニプロ医工(株)	
パナソニックAP空調・ 冷節機器(株)	
(株)SSCompany.	

公務員	
栃木県警察本部	
埼玉県警察本部	
陸上自衛隊	

就職状況
若い人材を求めろ

全国での高校生への有効求人倍率が毎年伸びている中、本校にも昨年に引き続き、800社以上の企業から求人が寄せられました。従来通り9月から始まった就職試験は一次試験でほぼ全員が内定をいただきました。その後、年内には全員が内定をいただくことができました。公務員には、3名が内定を得ることができました。就職試験に臨むにあたっては、現在の高校生の就職状況を把握し、「ここでは非働きたい、努力していきます」という強い意欲を持った姿勢が特に必要です。入社試験で課せられる学力試験や面接試験に備えて基礎学力の向上に努めることはもちろんのこと、部活動や資格取得に積極的に挑戦し、自分の目標実現に向けて高校生活全般を見つめ直す必要があります。企業は、若い人材を求めています。

活躍する部活動

アジア大会
陸上競技部の石原南菜さん
U20 100メートルハードル
東アジア4×100メートルリレー
ボクシング部の伊藤瑠那さん
アジアユースに日本代表として出場！
優勝！

陸上競技部

**U20東アジア選手権100メートルハードル
100メートルリレーで優勝**

9月27・28日に香港で行われたU20東アジア選手権大会に、総2の6石原南菜さん（足利二中）が、日本代表として100メートルハードルと4×100メートルリレーに出場しました。

その結果、1日目に行われた100メートルハードルで優勝、2日目に行われた4×100メートルリレーでも四走を務め、優勝することができました。

日本代表として、海外の競技会に参加するのは今年2回目となります。海外での生活や、日本の競



2冠に輝いた石原南菜さん

技会とは異なる雰囲気の中かで勝つことができたことは、いい経験となりました。

今後とも日本代表として国際大会で活躍できるよう、大きな世界を見ながら頑張っていきたいと思えます。

ボクシング部

国際大会でつかんだ大きな収穫！

10月22～31日、アジアユースゲームズがバーレーンで開催され、女子50級級で総1の1伊藤瑠那さん（会津若松第四中）が、日本代表として出場しました。

初戦の相手は、ボクシング強豪国のウズベキスタンの選手でした。国際大会で優勝の実績を誇る選手を前に「最後まで戦い抜きたい」と、強い覚悟でリングに上がりました。試合は、苦戦を強いられながらも、得意の右ストレートを軸に積極的に前に出続けました。ヒット数で相手が上回り、判定負けとはなりましたが、堂々とした戦いぶりは国際大会でも高く評価

されました。

2度目の国際大会を経験した伊藤さんは「自分の課題や強みを再確認できました」と、コメントし



アジアユースに出場した伊藤さん

ました。この経験を糧に、更なる成長を重ね、次の舞台ではより一層たくましい姿を見せてくれるでしょう。伊藤さんの挑戦は続きます。

関東大会

陸上競技部

◆短距離◆

関東高校選抜新人大会出場

9月28・29日、山梨県甲府市において関東選抜新人大会が行われ、本校からは男子7名、女子5名が出場しました。

その結果、総2の4高橋龍空さん（佐野北中）が男子100メートル第2位、総1の6青柳乃愛さん（千代川中）が女子走高跳で第2位に入賞することができました。

初めて関東大会に出場する選手も多く、苦戦した大会となりました。

たが、インターハイに向けて良い経験をすることができました。

来シーズンに向けてしっかりと鍛えていきたいと思えます。

応援ありがとうございます。ごさいます。



関東大会に出場した陸上競技部

◆長距離◆

関東高校駅伝女子出場

11月22日、埼玉県熊谷スポーツ文化公園陸上競技場周回コースにおいて関東高校駅伝競走大会が行われました。3年生は高校最後の駅伝レースになり、集大成の走りチームを盛り上げてくれました。



関東高校駅伝大会に出場した陸上競技部

この経験をまた新チームに引き継いでいきたいと思えます。応援ありがとうございます。

- 【出場メンバー】**
- 1区 総2の6 小出 和奏さん（小山三）
 - 2区 総3の5 諏訪心花さん（小山三）
 - 3区 文3の3 荒牧美羽さん（箱中）
 - 4区 総1の1 小竹和花さん（あそ野学園）
 - 5区 文3の1 永瀬 誉さん（清原中）

女子サッカー部

全国で戦えるチームを目指して

11月2日から茨城県鹿島ハイッスポーツプラザで、第34回関東高等学校女子サッカー選手権大会が開催されました。栃木県の第2代表として7年連続7回目の出場となりました。

対戦相手は昨年度と同じ茨城県第1代表の霞ヶ浦高校でした。終始押される展開でしたが、本校チームもショートパスを多用し、少しずつ相手を揺さぶりました。しかし、CKやPKなどで失点し、最終的には0-5で敗退しました。

選手たちは最後まで集中力を切らさず、懸命に戦ってくれました。次の大会に向けて大きく成長できるように、日々の練習を大切にしていきたいと思えます。



試合前の集合写真

柔道部

4名が入賞

11月8・9日に千葉県総合スポーツセンターで行われた第3回関東高等学校選抜柔道大会に栃木県代表として12名が出場しました。



入賞した(左から)藤崎さん、君島さん、安村さん、恩田さん

60kg級の総1の2安村陸人さん(田島中)、66kg級の総1の5君島光輝さん(総和中)は、ともに準々決勝で敗れたものの、1年生らしいフレッシュな戦いぶりで堂々の第5位入賞を果たしました。81kg級の総2の2恩田翔琉さん(足利一中)は、2回戦で東京都王者に小内刈で値千金の勝利を挙げて第5位入賞、100kg超級の進2の1藤崎快晴さん(足利一中)も意地の第5位入賞と、強豪ひしめく関東ブロックで4名が入賞しました。

ボクシング部

伊藤さん、鍋木さん、全国選抜大会へ

1月22・25日、千葉県市原市ゼットエー武道場で関東高等学校ボクシング選抜大会が行われ、本校

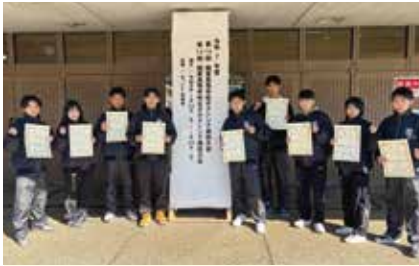
からは9名が出場しました。

女子バンタム級の伊藤さんと、女子ライト級の鍋木さんが全国選抜大会を懸けたAブロックで見事優勝し、3月に開催される本大会への出場を決めました。また、この他にも出場者全員が入賞という結果でした。

5月の関東大会では17年ぶりの

【女子結果】
ピン級A 第2位
総2の6 竹部 志保さん(綿打中)
バンタム級A 第1位
総1の1 伊藤 瑠那さん(会津若松)
ライト級A 第1位
総2の5 鍋木 結愛さん(生品中)

【男子結果】
ライトフライ級A 第3位
総1の1 高橋 侃太郎さん(あずま中)
フライ級A 第3位
総1の6 須藤 大和さん(都賀中)
フライ級B 第1位
総2の4 尾上 景南さん(山辺中)
バンタム級B 第1位
総1の1 大里 拳輝さん(境第一中)
ライト級B 第1位
総1の4 本島 裕葵さん(赤堀中)
ライトウェルター級B 第1位
総1の1 稲川 友尊さん(大谷中)



関東選抜大会に出場したボクシング部

団体優勝を狙えるよう、チーム一丸となって練習に取り組みたいと思います。各階級の結果は表の通りです。

バトントワリング部

金賞・第3位

10月5日、第60回バトントワリング関東大会に中学生2名を含め8名が出場しました。

今年も、4年連続の全国大会出場を目指していましたが、第3位・金賞の過去最高成績で全国大

女子ソフトテニス部

◆関東高校選抜 第3位入賞◆

1月17・18日、千葉県の茂原市民体育館及び木更津市民体育館において、関東高校選抜ソフトテニス大会が行われました。



第3位入賞のソフトテニス部

1回戦は趙町学園女子高校(東京)に3-0で勝利。勝てば全国選抜大会への出場が決まる準々決



関東大会に出場したバトントワリング部

会の切符を手にしました。今年の演技タイトルは「Haruyo Koi」。「日本の美しい四季の移り変わり、

勝戦も植草学園大学附属高校(千葉)に2-0で勝利しました。準決勝では健大高崎高校(群馬)に1-2で敗れましたが、第3位に入賞し、全国選抜大会の出場権を獲得することができました。応援ありがとうございました。

【出場メンバー】

総2の3 螺良 寧々さん(芳賀中)
総2の6 阿久津 美優さん(芳賀中)
総2の4 生井 結愛さん(黒磯中)
総2の6 福地 奈津美さん(宮郷中)
総1の6 三浦 夕依さん(錦ヶ丘中)
総1の2 戸田 葵唯さん(河内中)
総2の4 渡邊 佳穂さん(今市中)
総1の2 小井沼 美優さん(小山城南中)

◆螺良寧々さんが 関東シングルス大会で優勝◆

3月1日、神奈川県小田原市で開催された関東シングルスソフトテニス選手権大会に総2の3螺良寧々さん(芳賀中)が出場しまし

春・夏・秋・冬…。厳しい冬の寒さ乗り越えた後、静かに近づくうらかな春の足音。草の息吹、桜の開花…。大地が深い眠りから覚め、生命のエネルギーが満ち溢れる。そんな春の訪れがフロア一杯に広がり、観てくださる人たちに届くよう「精一杯演技しました。衣装は保護者が手作りしてくれました。

たくさんの人に支えていただいていることに感謝し、これからも頑張ります。



関東シングルス大会で優勝した螺良寧々さん

た。螺良さんは、持ち前の粘り強さとコントロールショット、ツイストを武器に勝ち上がり、見事優勝することができました。大学生や実業団の選手も出場する中で優勝できたことは、螺良さんにとって良い経験となりました。螺良さんは大会後、「優勝できるとは思いませんでしたが、力を発揮できてよかったです」と語りました。応援ありがとうございました。

軟式野球部

新チーム今夏の雪辱を果たす

10月24、29日、神奈川県いせはらサンシャインスタジアム他において、第66回秋季関東地区高校軟式野球大会が開催され、本校チームは栃木県2位代表として出場しました。

初戦は、今夏の北関東大会決勝で敗れた東洋大牛久（茨城）に3―1で勝ち、雪辱を果たしました。四回裏2アウト1・3塁から進2の1藤生結人さん（協和中）の左適時打で先制し、さらに、進2の2大木勇人さん（毛野中）の中前打で3点先制しました。投げては進1の3富山佳緯さん（岩舟中）



関東大会に出場した軟式野球部

がほぼ完璧に封じ、初戦を制しました。2回戦は、栄光学苑（神奈川県）と対戦しましたが、相手投手の好投に少ないチャンスを掴めず0―3で惜敗しました。この悔し

さを春夏に繋げます。

軟式野球部は現在、部員を募集しています。皆さん、一緒に野球しましょう!!

囲碁・将棋部

関東大会女子第5位入賞

12月21日、神奈川県横浜市で第36回関東地区高等学校文化連盟将棋大会が開催され、本校からは、特2の3金子千珠さん（広沢中）が2年連続で出場しました。

1回戦は、開催県である神奈川県の手先に危なげなく快勝しました。勢いそのままに、強豪である千葉県の選手と対局した2回戦では、序盤こそ苦しい展開でしたが、粘

活躍する文化部

写真部

関東地区天会にて奨励賞を受賞

2月2〜7日、東京工芸大学中野キャンパスにて第32回関東地区高等学校写真展東京大会が開催され、関東102校159点の作品が展示されました。6日間の日程で、非常に内容のある大会でした。1日の写真審査後、2〜7日まで写真展示が行われ、最終日には出品校の受賞作品の表彰式、審査員による作品講評会が行われました。本校から出展した特2の3佐々

り勝ちを収め、悲願であった2回戦突破を達成することができました。続く3回戦では、残念ながら山梨県1位の選手に実力の差を見せつけられ敗れましたが、将棋部門では当部の歴史上最高位である関東大会第5位という結果を残すことができました。



対局中の金子千珠さん(右)

木沙優さん（邑楽南中）、特1の2齋藤蓮さん（白鷗中）の作品は、奨励賞を受賞しました。

講評会では「作品制作でのレベルが高くなっている中、個性ある作品が多かった」と先生方からお話がありました。

今春にある写真甲子園出展を目



佐々木さん(左)と齋藤さん

指し、今後も意味のある写真制作を行っていきたいと思います。

書道部

持ち前の集中力でつかんだ入選

10月12日、第34回国際高校生選抜書展（別名書の甲子園）の審査が行われ、篆書の「周廟金人銘」を臨書した、特2の1鈴木琴音さん（坂西中）の作品が入選に選ばれました。今年度は国内外からの応募総数10487点のうち、入賞200点、入選1600点でした。



入選した鈴木さんの作品

鈴木さんの作品には、畳一畳分ほどの全紙に、289文字が13行で書かれています。篆書はよく印鑑などにも用いられる書体ですが、常に一定の太さを保ちながら、横画は水平、縦画は垂直で左右対称に書くことが求められるなど、楷書や行書以上に多くの時間と集中力を要します。今回の入選を受け、鈴木さんは、「一行に3時間をかけて丁寧な作品を仕上げました。来年は、更に上を目指して頑張りたいです」と力強く語ってくれました。

作品は1月27日〜2月2日の間、大阪市立美術館天王寺ギャラリーに展示されました。

科学部

栃木県大会にて優秀賞を受賞

特3の1大井陽斗さん（白鷗中）、進3の3澤田琉偉さん（白鷗中）、進3の3森山裕太さん（白鷗中）のグループが、日本学生科学賞栃木県大会に研究成果を発表し、優秀賞を受賞しました。

大井さんらのグループは、風力発電において、4枚羽のプロペラの形状の違いが発電効率に及ぼす影響を調べました。羽の面積やフラップの角度を変えて検討したところ、フラップの形状が四角形で、広い翼面積を持つプロペラの発電効率が高いことがわかりました。



授賞式の様子

工夫された実験や、わかりやすくまとめられたポスター資料が評価されました。おめでとうございます。

全国大会

柔道部 夏に向けて再出発

3月27・28日、東京都の日本武道館で行われた全国高等学校柔道選手権大会に出場しました。

初日の個人戦では、5階級に4名の出場でしたが、66kg級・総1の5君島光輝さん（総和中）の3回戦進出が最高成績という悔しい結果でした。



試合前の様子

挽回を期して臨んだ団体戦では、初戦で盛岡大付属に1点を追う展開となり、中堅・進2の2藤崎快晴さん（足利一中）が主将の意地で合わせ技一本を勝ち取るも及ばず、1-2で敗退しました。

全国の強豪に跳ね返される結果となりましたが、夏に向けてまた頑張ります。応援ありがとうございます。

陸上競技部

U18/U16陸上競技大会

10月17・19日、三重県伊勢市にて、U18/U16陸上競技大会が行われました。本校からは6名の選手が出場しました。結果は、総2

の6石原南菜さん（足利二中）がU18女子100mハードルで優勝、進2の3諏訪彩乃さん（真岡中村）がU18女子砲丸投で6位入賞、進2の4厚木ひまりさん（足利二中）がU18女子走幅跳で7位入賞、U18女子100mハードルで総1の6加藤未来さん（若松原中）が8位入賞をすることができました。その他にも、総1の2江田朋未さん（桑中）がU16女子円盤投に出場、進2の4鈴木香凛さん（若松原中）が、U18女子300mハードルで健闘することができました。応援ありがとうございました。



陸上U18/U16に出場した選手たち

U20日本選手権大会出場

9月27・28日、静岡県草薙市においてU20日本選手権大会が行われました。この大会は20歳未満の

日本選手権ということ、大学生も出場するレベルの高い全国大会です。本校からは、1、2年生3名の選手が出場しました。

その中で、1年生の加藤未来さんが女子100mハードルで、B決勝第2位となることができました。高校1年生では快挙といえる成績を残すことができました。その他に、4



陸上U20に出場した選手たち

00mハードルに進2の4鈴木香凛さん（若松原中）、走高跳に総1の6青柳乃愛さん（千代川中）が出場しました。応援ありがとうございました。

ボクシング部

伊藤さん、全国初優勝！

3月23・29日、第37回全国高等学校ボクシング選抜大会兼JOCジュニアオリンピックカップ競技大会が山梨県甲府市小瀬スポーツ公園武道館にて開催されました。本校からは、女子バンタム級で総1の1伊藤瑠那さん（会津若松第四中）と、女子ライト級で総2の5鍋木結愛さん（生品中）が出場しました。

伊藤さんは決勝まで勝ち進み、

昨年末の全国大会で敗れた選手とのリベンジマッチに臨みました。

1、2ラウンド目は互いに譲らず一進一退の攻防が続きましたが、3ラウンド目には得意の右ストレートで流れを引き寄せ、相手からダウンを2度奪うなど、圧巻の内容で勝利を収めました。伊藤さんは、日に日に厳しくなる減量や前回の敗戦を乗り越え高校での全国初優勝を果たし、今大会の優秀選手賞にも選出されました。



伊藤瑠那さん(左)と鍋木結愛さん

第5位に入賞した鍋木さんは、「今大会の反省を生かし、必ず強くなって全国の舞台に戻ってきます」と、力強く今後への抱負を語ってくれました。

今後とも部員一同、更なる高みを目指して頑張ってお参りますので、温かいご支援をお願いいたします。12月17・21日、愛知県のダイゼンアリーナ西尾で令和7年度第4回全日本女子ジュニアボクシング選手権大会が開催され、本校からは女子バンタム級で総1の1伊藤瑠那さん（会津第四中）、女子フェザー級で総2の5鍋木結愛さん（生品中）が出場しました。

剣道部 創部初、全国大会団体戦出場

1月31日、宇都宮市のユウケイ武道館にて開催された第35回全国高等学校選抜剣道大会栃木県予選会女子団体戦で初優勝し、剣道部創部以来初の団体戦での全国大会出場を決めました。

厳しい練習や強豪校との練習試合を重ね、各種大会では全国レベルの相手とも戦いながら、多くの修羅場をチーム一丸となって乗り越えてきました。



全国選抜大会初出場を果たした剣道部

本戦では、東海地区優勝校と1回戦から対戦しましたが、1本差で惜敗しました。初出場でも上位進出を叶えることはできませんでしたが、この悔しさを胸に刻み、夏の奈良インターハイに向けて再出発いたします。

男子バレーボール部 全国私学大会で1勝を挙げる

3月24日から全国私立高等学校男女バレーボール選手権大会が開催され、3年連続で出場しました。予選リーグ1日目は東京都代表の岩倉高校、青森県代表の青森明の星高校、2日目に大阪府代表の常翔学園高校、富山県代表の富山第一高校と対戦しました。

結果は1勝3敗で、予選リーグ突破はできませんでしたが、全国大会で1勝できたことは大きな自信につながりました。来年こそは予選リーグを突破し、全国で勝てるチームを作りたいと思います。応援くださった方々、ありがとうございます。



開会式の様子
(本校チームは黒のユニホーム)

第79回国民スポーツ大会

石原さんが100メートルハードルで
高校新記録
大会新記録にて優勝！

10月、第79回国民スポーツ大会が滋賀県で開催されました。出場競技・出場生徒は次の通りです。

- 〈陸上競技〉
- 総2の4 高橋 龍聖さん (佐野北中) 少年男子A 100mハードル 出場
 - 少年男子A 100mハードル 出場
 - 成年少年男子共通 4x100mリレー 出場
 - 進1の2 大木 昊さん (毛野中) 少年男子B 走幅跳 出場
 - 進2の4 鈴木 香凛さん (若松原中) 少年女子A 3000mハードル 出場
 - 成年少年男女混合 4x400mリレー 出場

女子ソフトテニス部 全国選抜大会ベスト16

3月28〜30日、愛知県名古屋市の日本ガイシスポーツプラザで全国選抜大会が行われました。

初戦となる2回戦で尽誠学園高校(香川)と対戦し、3-0で勝利しました。続くベスト8をかけた

湖国の感動 未来へつなぐ

〈陸上競技〉

- 総2の6 石原 南菜さん (定利二中) 少年女子共通 100mハードル 優勝 (日本高校新・大会新)

- 〈水泳〉
- 総2の4 溝口 舜大さん (佐野北中) 少年男子50m自由形 出場
 - 少年男子100m自由形 出場
 - 総2の2 大貫 耀斗さん (東原中) 少年男子200m平泳ぎ 出場
 - 総2の2 川島 大歩さん (佐野南中) 少年男子200mバタフライ 出場
 - 総3の4 福田 円さん (晃陽中) 少年女子400m自由形 出場
- 〈ソフトテニス 少年女子出場〉
- 総2の3 蝶良 寧々さん (芳賀中)
 - 総2の6 阿久津美優さん (芳賀中)
 - 総3の5 西牧 結愛さん (杉戸広島中)
 - 総2の4 生井 結愛さん (黒磯中)

た京都光華高校(京都)との試合では接戦となりましたが、あと一歩及ばず、0-2で敗退となりました。

今大会で得た課題と経験を生かし、チームは夏のインターハイを目指し、今後も練習に励んでいきます。応援ありがとうございます。



全国選抜大会に出場した
女子ソフトテニス部

バトントワリング部 全国大会2年連続「金賞」!

12月6日、幕張メッセで開催された第53回バトントワリング全国大会に出場しました。

関東大会以上の完成度の高い演技を目指し、全国大会に向けてより細かいところまでチェックしながら練習を重ね、フロアに立



全国大会に出場したバトントワリング部

ちました。演技タイトルは関東大会と同じ「Haruyo Koi」ピアノ

ストの清塚信也さんが奏でる美しいピアノの旋律にのせて、厳しい冬を乗り越えた後の力強くも柔らかく美しい春の訪れをフロア一杯に広げ、観てくださる

白鷗トピックス

1学年 大学見学

9月17日、本校舎1学年の大学見学を実施しました。総合進学コースは白鷗大学を含め、群馬大学、群馬パース大学、獨協大学の4大学を志望に合わせて見学しました。

白鷗大学では、各自で選択した模擬授業を体験し、大学の食堂で昼食。その後、白鷗大学生の案内でキャンパス内を見学しました。

群馬大学、群馬パース大学、獨協大学でも大学の概要や特徴などの説明を受け、キャンパス内を見学したり、食堂を利用したりと有意義な時間を過ごしました。

人たちに届けられるよう、心一つにして丁寧に演技しました。結果は、昨年に続き「金賞!」3年生にとっては最後の演技になりましたが、好成績を収めることができ、嬉しかったです。

- 〈出場メンバー〉
- 総3の2 西村 妃莉さん (尾島中)
 - 総3の3 松本 小羽さん (毛野中)
 - 進2の3 本間 美咲さん (毛野中)
 - 進2の4 根岸 美羽さん (邑楽中)
 - 進1の2 小林 璃緒奈さん (邑楽中)
 - 総1の1 近藤 心音さん (山辺中)
 - 中2の1 沼田 怜奈さん (太田旭小)
 - 中2の2 宇野木 娃良さん (鹿沼南小)



模擬授業の様子

2年生 沖縄修学旅行

本年度の修学旅行はコース再編後初めての実施となり、総合進学コースのA団は11月17日から、特進コースと進学コースのB団は18日から、それぞれ3泊4日で沖縄を訪れました。今回は全コースが同じ内容で行程を組んだことで、学年全体としてのつながりを深め



マリン体験

ながら、多くの学びを共有できる機会となりました。

初日は羽田空港から那覇空港へ向かい、到着後はゆいレールで首里城へ移動しました。夕方の首里城では、焼失から再建へ向けた取り組みについて10名程度のグループで説明を受け、生徒は真剣な様子で耳を傾けていました。その後は国際通りで班別研修を行い、沖縄料理を楽しんだり、お揃いのTシャツを購入したりと、班ごとに目的を決めながら活動する姿が見られ、初日から充実した様子が感

じられました。

2日目は平和学習を中心に活動しました。午前中は読谷村で座喜味城跡、シムクガマ、チビチリガマを訪れ、現地ガイドの話聞きながら、当時の厳しい状況について深く考える時間となりました。特にチビチリガマでの講話は、生徒に大きな印象を残したようでした。午後は比謝川、磯観祭、コザ街歩きの3コースに分かれて行動し、歴史や自然環境について幅広く学びを深めました。夜は「お笑い米軍基地」を鑑賞し、時事問題を題材にした風刺を通して基地問題について考える貴重な機会となりました。

3日目の午前は、マリン体験・創作体験・マンガローブ観察の中から一つを選んで活動しました。午後はジャングリアを訪れ、多くの生徒がアトラクションを楽しみながら友人との交流を深めていました。



比謝川での一枚

最終日は海洋博公園で美ら海水族館を訪れました。「黒潮の海」大水槽では、ジンベエザメやマンタの食事風景に立ち会うことができ、生徒からは大きな歓声が上がりました。帰りのバスでは疲れも見られましたが、4日間で得た学びや経験を振り返りながら過ごす穏やかな表情が印象的でした。

体育祭

10月24日、足利市陸上競技場（足利ガスグラウンド）において体育祭が行われました。選手宣誓は総3の2池内雷基さん（田島中）と進3の3永田功史さん（大平南中）が行いました。

今年新たな競技として「台風の目」が加わり、息を合わせて走る難しさと迫力のある展開に、会場からは大きな声援が送られました。

「やまかんレース」では、運と判断力が勝敗を分け、思いがけない逆転に会場がどよめきました。

午前中の最後に行われる男子のダンスでは、嵐の曲に合わせた力強く統一感のある動きで観るものを魅了しました。

午後の部の「部活動対抗リレー」では、各部活動の個性とスピードが光り、陸上部が圧巻の走りを見せて見事1位を獲得しました。「大綱引き戦」では全力で綱を引

き合う白熱した戦いが各学年繰り広げられ、応援にも自然と熱が入りました。先生方の選抜チームであるオールドブラックストとの最終決戦に臨んだ進学コース3年4組は惜しくも敗れ、先生方のチームは連勝記録を伸ばしています。「友情の絆」では仲間を信じてつなぐ姿が心に残りました。袋飛び、二人三脚、人間運搬、騎馬走、ムカデ走とバトンをつなぎ、最後まで諦めずにどのクラスも頑張っていました。



新たな競技「台風の目」

「クラスリレー」では午前中の予選を勝ち抜いた8クラスが決勝に進み、進学コース2年4組が予選でも決勝でも見事に1位でゴールしました。最後に行われた女子の集団演技では、白、桃、青、緑、黄、橙の6色のボンボンを使いアリアナ・グランデとEminemの曲に合わせて踊りました。最後のHAKUOHの人文字が完成した時に会場からは盛大な拍手が沸き起こりました。総合優勝は文理進学コース3年1組と進学コース2年4組の2クラスとなり、仲良く総合優勝の盾を持ち上げる姿が印象的でした。今年の体育祭は本校舎と新校舎で行う2回目の体育祭でしたが、全員が楽しめる体育祭になったと思います。



女子のダンスの様子

令和7年度 体育祭成績表

総合結果

総合優勝 **文理3年1組** 285点
進学2年4組

総合3位 **総進3年2組** 275点

学年優勝

1学年優勝 **進学1年2組** 260点

2学年優勝 **進学2年4組** 285点

3学年優勝 **文理3年1組** 285点

ビブリオバトル

★特進1年生が挑戦！

12月14日、栃木県総合文化センターにて全国高等学校ビブリオバトル栃木県大会と「伝えよう！本の魅力コンテスト」の表彰式が行われました。

ビブリオバトルでは特1の1芝田真凜さん（栃木西中）が出場し、決勝の舞台上で王手をかけるも惜敗を喫しました。「伝えよう！本の魅力コンテスト」では、ビブリオバトルにも出場した芝田さんと、特1の1小池苺々奈さん（太田城西中）が優秀賞を受賞し、表彰さ



「伝えよう！本の魅力コンテスト」で優秀賞を受賞した小池さん（左）と芝田さん

れました。同校より複数名の受賞は本校のみでした。授賞式では、賞状と副賞を手渡される2人の堂々とした姿が印象的でした。作品は栃木県ホームページに掲載されています。

インターアクト部フィリピン海外研修

2月21～24日の4日間でのフィリピン海外研修は私たちの価値観を大きく変える経験となりました。女子保護団体「HAVEN」の訪問やアサンブション大学高校での



女子保護施設HAVENへの慰問

文化交流を通して、幸せは「物の豊かさ」ではなく、「人とのつながりの深さ」にあるということを感じました。

現地の高校生たちは「誰かのために何ができるか」を常に考え私たちが歓迎し、折り紙や書道を全力で楽しんでくれました。彼らの明るさに触れ、支援とは一方的に与えるのではなく、共に認め合うものだと実感しました。現地の子どもたちと歌い、踊った時に、笑顔は世界共通の言語だと思いました。この交流を糧に、将来も国境を越えて手を取り合える活動に携わりたいと考えています。

語学研修

「ブリティッシュヒルズ」

3月10日から2泊3日の日程で、1年生の希望者による語学研修が福島県にあるブリティッシュヒルズで実施されました。

ハリポッターの世界に迷い込んだかのような雰囲気の中、生徒たちは、授業はもちろん、買い物や食事など日常生活のあらゆる場面で英語を使って過ごしました。スピーチスキルの授業では先生から受けたアドバイスを生かし、全員が自信をもって発表を行いました。スコーン作りの授業では英語



集合写真

の説明をしっかりと理解し、美味しいスコーンを仕上げることができました。

今回の経験をもとに、今後も語学や異文化に関心を持ち、国際的な視野と自身の将来の可能性を広げていくことを願っています。

探究活動 Ring

2月7日、リクルート主催「高校生 Ring AWARD」に出席しました。本校では2年生の探究学習の中で「高校生 Ring」に取り組み、特2の2栗田綾乃さん（野木二中）、特2の3青木綾香さん（足利北中）、特2の3江間絢帆さん（館林四中）、特2の3吉田稜彩さん（太田城東中）の班が提案したビジネスプラン「Grow App」が全国3万4206人の中から100選に選

GSP ～グローバル社会で活躍する人材育成～

11月18～20日までの3日間、特別進学コースの1年生を対象にGSP（グローバル・スタディーズ・プログラム）が実施されました。

GSPとは、将来グローバル社会で活躍する人材育成を目的としたプログラムで、東京大学や慶應義塾大学などに在籍している留学生のもとで小グループを形成し、100%英語で授業を行い、ディスカッションやプレゼンテーションを学んでいきます。



活動風景

AIやビッグデータといった革新

ばれ、最終審査であるこの会の観覧に招待していただきました。

当日は全国トップのファインリスト5組によるプレゼンテーションに圧倒され、大きな刺激を受けたようです。多くの方にご協力いただき、この場を借りて御礼申し上げます。



「高校生Ring AWARD」会場にて

技術やSDGs、地産地消プロジェクトなど、様々な課題に世界的な視野でアプローチし、最後は、一人ひとりが将来の夢や目標を英語でプレゼンテーションしました。



留学生との集合写真

初日こそ、慣れない英語で留学生に話し掛けることにはためらいましたが、最終日にはすっかり打ち解け、たくさん話すごとができました。事後アンケートでも、ほぼ100%の生徒が、GSPに取り組んで良かったと回答しました。

白鷗大学だより

PLUS ULTRA — さらに向こうへ

中沢匠磨選手プロの舞台へ プロ野球育成3位指名へ

10月23日、プロ野球ドラフト会議で、硬式野球部の中沢匠磨選手（経営学部4年）が東北楽天ゴールデンイーグルスから育成3位指名を受けました。

中沢選手は白鷗大学足利高校から白鷗大学に進学。最速150km/hの直球に加え、フォークやカーブなど多彩な変化球を操る右腕で、大学4年の秋季リーグ戦では最多勝利投手賞を獲得しました。

指名後の会見では「高校時代は指名の土俵にも上がれなかったが、大学では、育成ながらも指名された。まずは安心した気持ちが大変大きい。ここから勝負。一日でも早く1軍でプレーできるように頑張りたい」と前を見据えました。その後、11月19日には、本キャンパスで指名の挨拶を受けました。

本学出身でドラフト指名を受けたのは中沢選手で17人目。楽天からの指名は、2011年の岡島豪郎選手、2014年のルシアノ・



ユニホームに袖を通し笑顔の中沢選手

フェルナンド選手に続き3人目です。

中沢選手は「育成契約ですので、まずは1日でも早く支配下に上がって、将来は1軍のローテーションですと投げられるように頑張ります。プロ野球選手として、投げる1球の重みをしっかり感じながらプレーをしたいと思います」と力強く話しました。

楽天の愛敬スカウト部長は「ピッチングを見させてもらい、ぜひご縁があればと思っていたので非常にうれしい。育成からすぐに支配下になることを期待している」と話しました。

国際社会での若者の役割とは “国連広報センター”所長特別講演

12月19日、国連広報センター所長の根本かおる氏を迎え、特別講義が行われました。講義は経営学部の狐野由久教授が担当する科目「ジャーナリズム論Ⅱ」「メディアリテラシーⅡ」の授業として全学公開で実施され、多くの学生が参加しました。

今回のテーマは「国連創設80周年」国連が期待する若者のチカラ。国連の歴史や根本氏の豊富な経験を交えながら、国際社会における若者の役割について語られます。

した。根本氏は「若者のみなさんには世界を変える力がある。大切だと思ふことに、勇気を出して一歩踏み出してほしい」と力強いメッセージを発信しました。



講演する根本氏

講義後の質疑応答では、学生から国連の現場に関する具体的な質問が寄せられ、参加者は真剣な表情で耳を傾けていました。普段の授業では得がたい国際的な視点に触れ、学生にとって大変貴重な学びの時間となりました。

狐野教授は「今回の特別講義を通じて、学生が国連の取り組みや地球規模の課題への理解を深めるとともに、自ら考え行動するきっかけとなれば」と期待を寄せました。

法政策シンポジウム開催 ～空き家問題を考える～

11月13日、法政策研究所によるシンポジウム「空き家問題を考える」が開催されました。

空き家は人口減少社会において増加傾向にあり、2023年の住宅土地統計調査（総務省）では、

全国の空き家率は13・8%と過去最高を記録しています。本シンポジウムは、こうした現状を受け、現行法制度における課題を明らかにし、今後の対応策を考えることを目的として開催されました。

上智大学法学部の北村喜宣氏による基調講演後、小山市建築指導課長の菅沼勇人氏、下野新聞社小山総局長の佐藤洋氏、本学法学部の茂木明奈准教授によるパネルディスカッションが行われました。コーディネーターは、法学部の岩崎忠教授が務めました。空き家問題に対する自治体の取り組みや課題について活発な議論が交わされ、約180人の参加者が熱心に耳を傾けました。

岩崎教授は「今回のシンポジウムを通して、複雑化・多様化する空き家問題の解決には専門的な法的知識が必要であり、自治体は財政面・組織面で限定されたリソースの中で、さまざまな団体と連携して取り組むことが重要であることが確認できた」と語りました。



パネルディスカッションの様子

PTAだより

逆境なんて気にしない PTA会長 金井 洋一



卒業生の皆さん、保護者の皆様
ご卒業おめでとうございます。

覚えていらっしゃるでしょうか？卒業生の皆さんが小学校の卒業式を間近にひかえた1月、日本で初めてのコロナウイルス感染者が確認さ

ました。卒業を控えた6年生の行事は、感染への不安から中止になったり、規模を大幅に縮小したりしたことを覚えていきます。一番心配したのは卒業式。開催するかしないかの選択を迫られた学校も数多くあり

ています。学校行事では、両校舎合同でのイベントが増えたので、協力して楽しく取り組めるもの

を覚えていきます。一歩が大切な選択を迫られた学校も数多くあり

ています。学校行事では、両校舎合同でのイベントが増えたので、協力して楽しく取り組めるもの

新生徒会役員誕生

11月4日の認証式をもって、新生徒会が発足しました。新生徒会
は本校舎7名、新校舎6名の計13名です。昨年からの経験者は5名です。



新生徒会役員

会計監査	進1の2	池田 稀星	(白鷺定利中)
会 計	特1の3	高久保 要	(毛野中)
書 記	総1の5	石川 莉彩	(大平中)
副議長	総1の5	綿谷 海希	(佐野城東中)
議長	特1の1	芝田 真凜	(栃木西中)
副議長	特2の2	飛田 萌心奈	(佐野西中)
副議長	特2の2	杉浦 麻衣	(山辺中)
副議長	特2の2	齊藤 優里	(白鷺定利中)
副議長	進1の2	岡田 美姫	(田沼東中)
副議長	特1の1	眞下 未夢	(大泉北中)
副議長	特2の2	小池 苺々奈	(太田城西中)
副議長	特2の2	木村 環希	(定利北中)
副議長	特2の2	馬場 悠翔	(休泊中)

ました。子どもたちが何も悪いことをしたわけではないのに、なぜ思い出を「しかたがない」の言葉で塗りつぶすのかと、当時やり切れない思いを抱いていました。

中学校に入学して新たなステージでの活躍を胸躍らせた4月、まさかの緊急事態宣言。私たち大人も経験したことのない逆境の中で、この学年の子どもたちはどんな風に成長するのだろうかと大きな心配をしていました。

そんな勝手な心配は高校に入学した皆さんを見て大きな勘違いとわかりました。大人が逆境と思っていた環境の中でも大きく成長し、

芸術鑑賞会

The Beat Carnival

例年になく頼もしい学年になっていました。「逆境に負けない」ではなく「逆境なんて気にしない」そんな強く頼もしい皆さんをPTA会長として送りだせることを誇りに思います。

卒業生の皆さん、ありがとう、そしておめでとう。



芸術鑑賞会の様子

10月14日、あしががフラワーパークプラザにて芸術鑑賞会が行われました。今年「岡田知之パーカッションアンサンブル」と「パーカッション・パフォーマン

ス・プレイヤーズ」をお迎えし、普段触れる機会の少ない、多彩な打楽器の魅力を味わうことができました。出演者の皆さんは、生徒の興味を惹きつける軽快なトークを交えながら迫力ある演奏や高度なテクニクを披露し、会場を大いに盛り上げてくれました。

特に、ドレミパイプの体験コーナーでは、生徒たちが楽しそうに参加する姿が見られました。生徒たちにとって、音楽の面白さを実感できる貴重な時間となりました。

編集後記

世界に目を向けると、イランを巡る戦争や緊張の高まりなど、不安を感じさせるニュースが続いています。遠い国の出来事のように思えるかもしれませんが、原油価格の高騰やプラスチック製品への影響などを通して、こうした出来事は私たちの日常生活とも少しずつ結びついています。

世界で起きていることは、決して他人事ではありません。しかし、大きな問題を前にして、すぐに答えを出したり、行動を起こしたりすることは簡単ではないと思います。だからこそ、今何が起きているのかを知り、自分なりに考えること、その一歩が大切なのではないのでしょうか。

日々の学校生活や身近な出来事に丁寧に向き合い、自分のやるべきことを一つひとつ大切にすることが、まずは何より重要です。その積み重ねの先に、世界で起きている出来事と自分自身の生活がつながっていることに気づき、少しずつ視野を広げていってほしいと思います。

※お忙しい中、原稿・写真等の協力ありがとうございました。
編集・校報委員会
発行：白鷺大学足利高等学校
足利市伊勢南町3の2
0284-41-0890
発行日：令和8年3月31日